日時・場所　1月13日　立花中学校2-4教室

実施学級・人数　2年4組　40名

授業者名　地理学科４年　5121076　大窪悠斗

「理科学習指導案」

１　単元名「力の働き」

２　単元の目標

　物体に力を働かせる実験を行い，物体に力が働くとその物体が変形し

たり動き始めたり，運動の様子が変わったりすることを見いだして理解

させるとともに，力は大きさと向きによって表されることを知ること。ま

た，物体に働く２力についての実験を行い，力がつり合うときの条件を

見いだして理解させる。

３　単元設定の理由

1. 生徒観

本校の生徒の半数以上は理科を面白いと思っていない。また、実験をしても考察を書くのが苦手な生徒もいる。したがって、考察を書く指導を行なったり、生徒の様子を見ながら授業をしたりする必要がある。また、本校では生徒に1人1台PCが普及されている。

1. 教材観

教科書に基づきつつ、ICTを用いて授業を進める。疾病や障がいのある生徒など、合理的配慮が必要な生徒については、オンデマンド教材や授業風景を映した同時双方向型授業などで適宜対応する。

1. 指導観

実験や実習を通して本単元の目標をクリアする。合理的配慮が必要な生徒には、適宜教員が対応し目標をクリアする。合理的配慮の対象に当てはまっていなくても生徒本人や保護者等からの要求があった場合や、教員がついていけてないと判断した生徒には同様に対応する。

４　単元の指導計画　全7時間

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | 主な学習内容 | 評価の観点 | 記録 |
| 1 | 力の働き  いろいろな力 | レポート（態度、思考・判断・表現） | 〇 |
| 2 | 力の大きさとばねののび | レポート（態度、思考・判断・表現） | 〇 |
| 3 | 力の表し方 | 授業後の小テスト（知識） | 〇 |
| 4 | 重さと質量の違い | 授業後の小テスト（知識） | 〇 |
| 5 | 圧力 | レポート（態度、思考・判断・表現） | 〇 |
| 6 | 水の圧力 | レポート（態度、思考・判断・表現） | 〇 |
| 7 | 空気の圧力 | レポート（態度、思考・判断・表現） | 〇 |

５　単元の評価基準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識及び技能 | 思考力，判断力，表現力等 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 単元の目標を達成している。 | 単元の目標を達成するために創意工夫している。 | 単元の目標を達成しようとしている。 |

６　本時の学習指導（全７時間中5時間目）

1. 主題　「力とは何か、どんな種類があるのか知ろう」

(2)目標　力とは何か、どんな種類があるのかを実験を通して理解できるようになる。

(3)指導過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 指導事項 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
| 導入5分 | 力にどのようなはたらきがあると思うか生徒に問う。 | 教員からの問いに答える。 | 生徒の様子を見ながら、理解度が低いと思われる箇所については詳しく説明する。 |
| 展開30分 | 力の働き、力の種類の講義を行う。  実験：電気の力を体感してみよう！  実験の説明 | 実験を行う。 | 生徒の様子を見ながら、ついていけていないとみられる生徒には適宜ヒントを与える。 |
| まとめ10分 | レポートを提出するよう呼びかける。 | 次回の授業までにレポートを提出する。  レポートの内容（態度、思考・判断・表現） | 生徒の様子を見ながら説明する。  質問があった場合は回答する。 |

７　教具、実験器具

　教科書、PC、録画用のカメラ、セーター

８　板書計画

https://github.com/nemiko007/EduPractice/blob/main/EduPractic